

「やさしい日本語」とは・・・？

ふだんつか 普通使われている言葉 ことば を がいこくじん 外国人、こ 子ども、こうれいしゃ 高齢者、しょう 障がい者など だれ 誰にも わ 分かるように はいりよ 配慮した ひょうげんほうほう 表現方法の ひと 一つです。

なぜ必要なの？

➤より多くの人にわかりやすい情報を伝えられる言葉

どうやって作るの？

1. 簡単な言葉を使う
2. 一文を短くする（長い文章は複数の文に分ける）
3. カタカナ外来語やローマ字は言い換える
4. 擬音語・擬態語は使わない
5. 漢字の量を減らし、漢字にはルビを振る
6. 年月日は西暦で、時間は12時間表記にし、スラッシュは使わない
7. 「おそらく」「たぶん」など曖昧な表現はしない
8. 二重否定の表現は使わない（「ないとは言えない」など）
9. 語尾を統一する
10. 話すときは、大きな声で、ゆっくり、はっきりと話す

実際に作ってみましょう！

➤裏面へ

「やさしい日本語」を作ってみましょう！

むずか ことば ことば お
難しい言葉をやさしい言葉に置きかえる

かんご わご
▶漢語→和語

かんご おも ちゆうごく つた ことば かんじ おんよ
漢語：主に中国から伝わった言葉で漢字の音読みをするもの

わご にほんこゆう ことば かんじ くんよ
和語：日本固有の言葉で漢字の訓読みをするもの

Q1. 両親 ()

Q2. 飲酒 ()

けいご ふつうご
▶敬語→普通語

Q3. どちら ()

Q4. いらっしゃる ()

Q5. 召し上がる ()

にほんご ぶんしょう
「やさしい日本語」の文章をつくる

Q6. 大雨警報が出ています。

Q7. 緊急時地震速報です。先ほど、秋田県地方で地震が発生しました。身の安全

を確保し、速やかに最寄りの避難所へ移動して下さい。

出典：愛知県『「やさしい日本語」の手引き』

「やさしい日本語」 解答例

Q1. 両親 (お父さんとお母さん)

Q2. 飲酒 (お酒を飲む)

Q3. どちら (どこ)

Q4. いらっしゃる (いる・行く・来る)

Q5. 召し上がる (食べる・飲む)

Q6. 大雨警報が出ています。

雨がたくさん降ります。気をつけてください。

Q7. 緊急時地震速報です。先ほど、秋田県で地震が発生しました。身の安全を

確保し、速やかに最寄りの避難所へ移動して下さい。

地震です。秋田県で地震が起きました。安全なところに逃げてください。

すぐに、近くの避難所へ行ってください。

